

保育所再編（閉所）について（令和8年度自治会長会資料）

1 保育所の再編（閉所）について

石見さくら会が運営する「日貫保育所」と瑞穂福祉会が運営する「市木保育園」「阿須那保育所」について、令和8年度末で閉所することをそれぞれの法人で決定されました。

2 閉所の理由

根本的な問題は、児童数の減少・保育士配置基準の変更・求められる保育サービスの変化等により保育士の確保が難しくなっているためです。

(1)児童数の減少（入所児童数は令和8年4月1日現在）

邑南町の出生数は、平成20年82人で合併以来最大でしたが、令和になってからは令和3年の60人をピークに年々減少し、近年は年間30人台となっています。このため、現在認可保育所運営の最小定員は20名ですが、日貫（9名）・高原（11名）・市木（10名）・阿須那（10名）・口羽（13名）の5保育所の入所児童は20名未満となっています。

(2)保育士配置基準の変更

現在の配置基準（）内は令和6年度まで

0歳児3:1、1歳児5:1（6:1）、2歳児6:1、3歳児15:1（20:1）、4歳児以上25:1（30:1）

※現在は、1歳児、3歳児以上は加算扱い。令和10年度からは3歳児以上は義務となる予定。

(3)現状と今後の懸念

- ①第一希望の保育所へ入所できない場合がある
- ②個別支援の必要な児童への職員配置が難しい
- ③一時預かり、子育て支援センターの規模縮小
- ④土曜保育の実施方法

3 再編（閉所）方針について

子どもたちが多様な人間関係の中で健やかに育ち、将来にわたって「安全、安心」が守られる環境を確保するため、保育所の利用人数を、原則20人を目安として再編を実施します。

(1)町内での保育場所を確保するため、保育所の立地等を考慮し、閉所は日貫・市木・阿須那の3保育所とします。

(2)従来から、保育士確保は難しかったが、令和7年度から保育サービスの一部を縮小し、さらに本年度からは土曜保育についても縮小している状況から、早急に対応が必要であり、令和8年度末の閉所決定にいたりました。

4 今後の保育士確保について

現在、町奨学金の見直しを検討しています。今後も、各法人の独自の活動、人材バンク登録などを通じて保育士の確保に努めていきます（町の保育士対象の奨学金はH27からR3年度）。

邑南町 年代別人口の推移

令和元年～令和7年

令和7年度末 邑南町の人口動態 (住民基本台帳)

総人口: 9,232人 ▼132人

出生: 31人

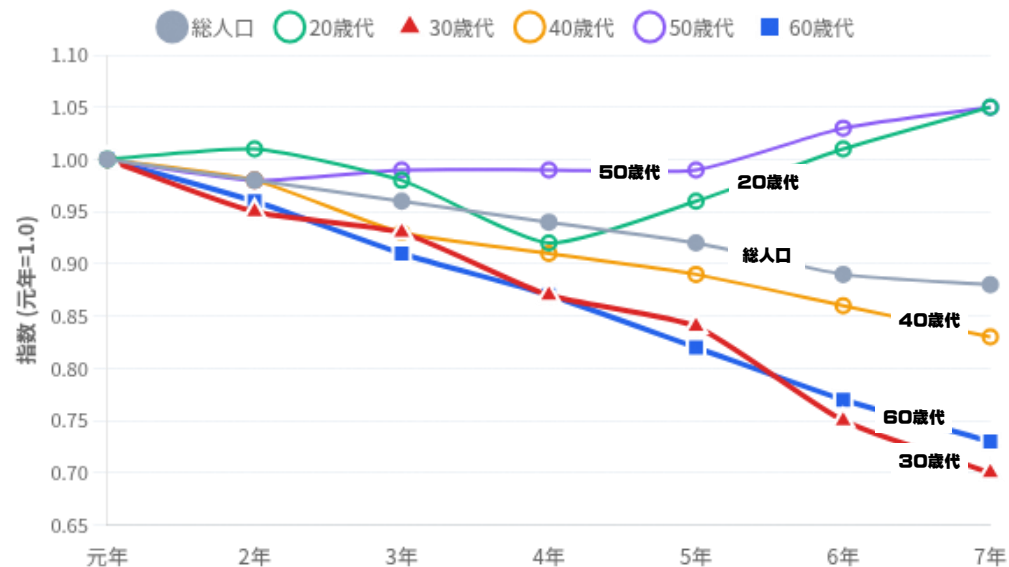
社会動態: +17人

社会動態内訳: 日本人 ▼7人、外国人+24人 (7年度末外国人人口 132人)

実数データ表 (人) 島根県政策企画局統計調査課 島根の人口移動と推計人口

年齢	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
総人口	10,374	10,152	9,993	9,795	9,548	9,280	9,087
20歳代	389	392	380	358	374	393	407
30歳代	829	790	769	725	695	621	577
40歳代	1,123	1,097	1,046	1,017	998	967	930
50歳代	1,057	1,037	1,051	1,050	1,048	1,084	1,108
60歳代	1,713	1,645	1,563	1,492	1,411	1,315	1,243

令和元年を1とした指数の推移



0.70

30歳代 (令和7年)

0.73

60歳代 (令和7年)

0.88

総人口 (令和7年)

出典: 島根県政策企画局統計調査課 島根の人口移動と推計人口